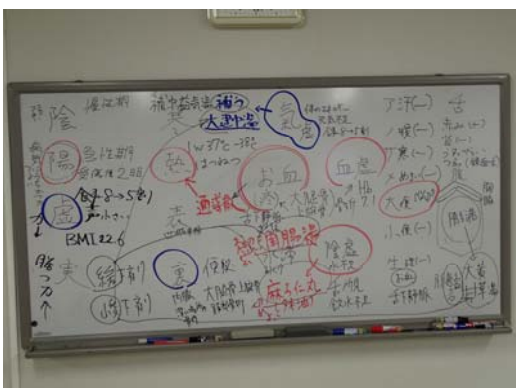
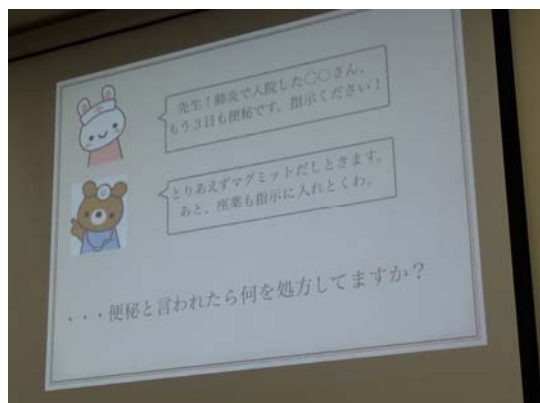


第 53 回 広畑臨床漢方研究会

Hirohata Practical Kampo Meeting

今回のお台は、大腿骨頸部骨折患者の便秘に対する漢方



便秘の証→処方を考える

熱	熱秘	裏熱	承氣湯類 桃核承氣湯 防風通聖散 通導散 麻子仁丸
気	気秘	気滞	柴胡剤 大柴胡湯 柴胡加竜骨牡蛎湯 抑肝散 加味帰脾湯 加味逍遙散
水	燥秘	陰虚	滋陰剤 六味丸 潤腸湯 清心蓮子飲 八味丸
寒	寒秘	裏寒	温裏剤 桂枝加芍薬湯 大建中湯 人参湯

便秘の種類を知る

熱	熱秘	裏熱	辛いものとり過ぎや暴飲暴食、熱性疾患等で、胃腸が熱を持つと腸で多くの水分を吸収してしまい便が硬くなるタイプ。
気	気秘	気滞	ストレスなどが原因で体の気の流れが滞ります(気鬱)。そうすると、腸の運動をコントロールする力が不足して便を押し出すことができないタイプ。
水	燥秘	陰虚	腸の水分が消費して潤いが不足することで、便が乾燥して出にくい状態です。病後や高齢者に多いタイプで、コロコロした便が特徴です。
寒	寒秘	裏寒	冷たい物を食べたり、冷え性で腹が冷えたり、消化管手術後で腸の動きが鈍くなり、便が出にくくなるタイプ。

陰虚の舌診

大腸骨頸部骨折患者の典型的な舌型

舌苔がない
→「鏡面舌」
舌尖部が赤い
→心熱

大腿骨骨折患者の証

痛い、ベッドで動けない→ストレス
体力の消耗

肝気鬱滞→肝火亢動
心火旺

肺炎、膀胱炎、
骨折の吸収熱 →発熱することが多い

骨折部からの出血

貧血になる

お血

局所は血腫がたまる

鏡面舌、舌尖紅

痛くてご飯や水分がのども通らない。
→脱水になりやすい

駆お

調胃承氣湯	承氣湯ベース 大黃 芒硝
大承氣湯	大黃 芒硝
桃核承氣湯	大黃 芒硝
通導散	大黃 芒硝
潤腸湯	大黃
麻子仁丸	大黃

Take home message

大腸骨頸部骨折患者の便秘には

熱秘 燥秘

駆お血剤 + 滋陰剤 高齢者に潤いを♡

通導散
桃核承氣湯
潤腸湯
治打撲一方
防風通聖散

六味丸
清心蓮子飲



便秘に漢方

西洋医学的な便秘の薬は便を刺激して押し出す作用です。使えば便は通るが、やめればまた詰るの繰り返し。特に骨折患者は床上安静を強いられるので便が通らないことは必発です。なかなかお腹がすっきりしたと言ってくれることはありません。そこで漢方薬の登場です。

まずは便秘のタイプを4つに分けましょう。

熱秘 辛いもの食べる、体が熱を持つ。

気秘 ストレスでイライラする。

燥秘 体が乾燥して便が硬くなる。

寒秘 お腹の動きが悪くなる。

で大腿骨頸部骨折の患者様は・・・

- 1、 骨折で熱を持つ、肺炎、膀胱炎等で発熱する。「熱」
 - 2、 出血、水分摂取不足で脱水になる。「燥」
 - 3、 痛み、ベッド上安静でストレス「気」
- のパターンです。もれなく「於血」の症状も出てきます。

そこで治療は

- 1、 熱を冷ます処方 →清熱剤
 - 2、 体を潤す処方 →滋陰剤
 - 3、 イライラをおさえる処方 →疎肝剤
- + 駆於血剤を組み合わせることになります。

今回は1 + 駆於血剤の組み合わせとして

清心蓮子飲+潤腸湯を紹介しました。

それぞれの処方を因数分解して生薬の解説を行いました。そうすればこの組み合わせの方向性が理解できたと思います。

便秘の違いを見分ける方法を知り、それに対する処方を知れば自ずと応えは出ます。次回は別のパターンの患者様を解説する予定です。